



FUKUTAKE  
EDUCATION AND CULTURE  
FOUNDATION

JUNE 2025





Founder  
FUKUTAKE Tetsuhiko

[設立者]

## 福武哲彦

「文化化」は、即座に収益面でプラスにならないかもしれないが、私は「文化」からはずれるような仕事はしたくない。  
「文化」に投資して、それが回りまわって  
会社の経営をバックアップするという形になれば、  
最高の投資ともいえる。  
直接手に収益につながらなくても、会社の質の向上になる。  
例えば福武文化財団の構想などは、  
私のビッグドリームである。  
—— 「福武の心」から



1986-2001  
TANIGUCHI Sumio

[初代 理事長]

## 谷口澄夫

機関誌の題名を「不易」としたのは、  
教育と文化のいずれにおいても、  
変遷著しい社会や人の心は十分に認識し、  
それらに対応することは必要ではありますが、  
いたずらに社会の変転に右顧左眄することなく、  
財団の依って立つべき不変の基本理念をしっかりと押さえ、  
それに従って財団を運営し、  
諸活動を展開していかなければならないという、  
自らの戒めを表したものであります。  
—— 機関誌「不易」創刊号(1998)ご挨拶文から



2001-2015  
FUKUTAKE Soichiro

[第二代 理事長]

## 福武總一郎

人々を心豊かにするのは経済活動だけではできません。  
経済の繁栄だけを目的化すると、かえって人々は不幸になると思います。  
文化、すなわち「人々が幸せになれる、  
いいコミュニティづくり(お年寄りの笑顔があふれる社会づくり)」のために  
経済はあるのだと私は思います。  
—— 「瀬戸内海と私」(2010)から

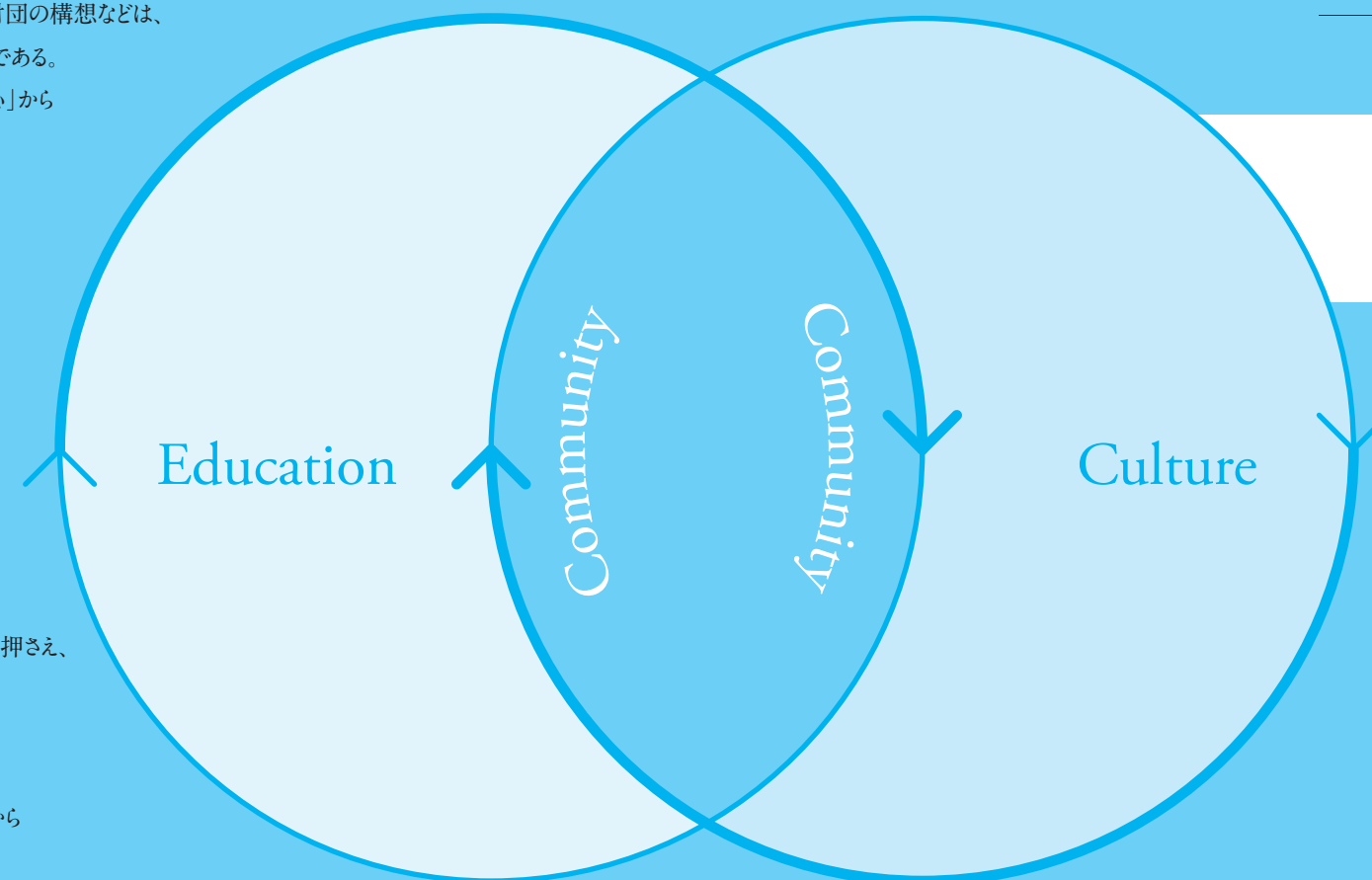


2017-  
MATSUURA Toshiaki

[現 理事長]

## 松浦俊明

文化芸術を通じた社会課題の解決というのは、財団の存在意義そのものだと思います。  
財団が直接、何かをするわけではないのですが、  
世の中には、文化芸術を通じて課題を解決しようとしている人がたくさんいて、  
その活動の後押しをするのが財団の役割です。  
そういう芽がどんどん出てくるような地域になるように、  
今後も引き続き波及効果のある活動をどんどん応援していきたいです。  
—— 機関誌「FUEKI64号」(2017) 理事長就任記念対談から



## ミッション Mission

教育と文化・芸術の両面から、  
地域社会にアプローチする。

教育と文化の両面から、  
地域社会の課題解決と社会的価値の  
創造を図る活動を応援します。



2015-2017  
FUKUTAKE Junko

[第三代 理事長]

## 福武純子

そもそも文化というのは、みんなに知ってもらい  
「いいね」という声がたくさんあがって、  
それが定着するんだと思います。  
—— 機関誌「FUEKI58号」(2015) 理事長就任記念対談から



2024年度 福武教育文化賞 贈賞式

## 福武教育文化賞

教育文化の振興による魅力的で豊かな人づくり・地域づくりに貢献することを目的とし、高い志を持ち、先駆的で地域への波及効果がある取り組みをしている次世代を担う個人・団体を対象に顕彰します。

### これまでの実績

福武教育文化賞 —— 24件

|         |      |           |      |                            |
|---------|------|-----------|------|----------------------------|
| 福武哲彦教育賞 | 69 件 | 谷口澄夫教育奨励賞 | 66 件 | *2019年度より左記4賞を<br>一本化しました。 |
| 福武文化賞   | 34 件 | 福武文化奨励賞   | 71 件 |                            |

## その他の主な事業



講演会「未来の歩き方教室」

〔フォーラム及び講演会等〕

地域で活動をしている方をパネリストに迎え、講演やトークセッション、参加者による交流会を開催しています。

〔and F 教室〕

活動団体に共通する課題解決につながる実践的なセミナーを開催しています。

〔広報活動〕

機関誌「不易」の発行、公式WebサイトやFacebookによる発信をしています。



機関誌「不易」



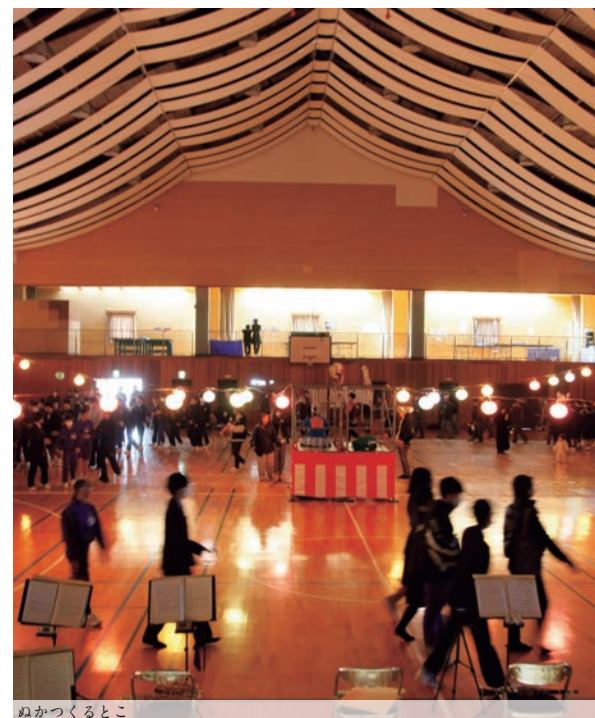
福武教育文化振興財団  
Webサイト



コミュニケーション・マガジン  
and F|アンドエフ



教育文化活動助成  
成果報告書アーカイブ



ねかつくるところ



牛窓話茶会えいとう市実行委員会

## 教育文化活動助成

人づくり・地域づくりという目的のもと、教育及び文化の視点から岡山の地域振興を図る有意義な実践活動を行う団体・個人を支援し、岡山の地がより活性化することを期待しています。

\*募集期間は毎年12月1日から1月31日まで

教育や文化芸術、地域資源を活用する以下の活動が対象となります。

1. 地域社会(コミュニティ)の活性化に取り組む活動
2. 次世代育成に取り組む活動
3. 教育の質の向上や普及に取り組む活動
4. 文化芸術の質の向上や普及に取り組む活動

\*2025年度(3月末時点)までに3,862件の活動に対して約8億円の助成をしています。  
(2025年度は、105件の活動に対して総額2,966万円の助成を決定しています。)

## 特色ある活動に対する助成

〔先進的事業助成〕

新たな教育文化的価値の創造に寄与する先進的かつ実践的な活動を行う団体等に対して助成しています。

〔グローバル化事業助成〕

多文化共生のネットワークづくりを進める事業に対して助成しています。

〔瀬戸内文化育成助成〕

瀬戸内文化の育成、創出のために必要なプロジェクトに対して助成しています。

〔福武教育文化賞受賞者フォロー助成〕

受賞者が行う質の向上と人づくり・地域づくりの活動に対して助成しています。



ハロー！ミュージアム助成

## 2024(R6)年度の実績

### 表彰

福武教育文化賞 3件

木口 雄人 | ピアニスト

NPO法人科学わくわくクラブ (理事長 三宅美郷)

つやま城下ハイスクール (代表 和田 優輝)

### 助成

| 事業内容               | 助成件数            | 助成金額    |
|--------------------|-----------------|---------|
| 教育文化活動助成           | 108件(応募総数:272件) | 2,998万円 |
| 先進的事業助成            | 34件             | 2,119万円 |
| グローバル化事業助成         | 1件              | 60万円    |
| 瀬戸内文化育成助成          | 2件              | 60万円    |
| 福武教育文化賞受賞者フォロー助成   | 13件             | 390万円   |
| 公募助成に準じる緊急を要する等の助成 | 2件              | 60万円    |
| 合計                 | 160件            | 5,687万円 |

### その他の主な事業

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講演会     | 「未来の歩き方教室」<br>[開催日] 2024年12月14日(土)<br>[会場] KURUN HALL (杜の街グレース内)<br>  講演   「機会の平等をつくる仕事」講師：慎泰俊 氏<br>  質疑応答   慎さんに聞いてみよう「お話を聞いて一問一答」<br>  パネルディスカッション   慎さんと話そう 慎泰俊×中高生「未来の歩き方」                                                                                               |
| and F教室 | ・vol.22 SNSの基本の「き」―認知度UP・集客・交流・発信でご縁を育むSNS活用<br>講師：小林 美希氏 (ええが!Labo 代表)<br><br>・vol.23 資金調達の基本の「き」―必要な要素を1つずつ整理して、ステップアップ!<br>講師：森田 悠太郎氏 (公益財団法人みんなでつくる財団おかやま 事務局長)<br><br>・vol.24 ファシリテーションの基本の「き」―学び合い育ち合う対話の場をつくる方法<br>講師：横山 弘毅氏 (高梁100challenge代表／岡山県立高梁高校 地域連携コーディネーター) |

## 財団について

### 設立・経緯

1986年 福武哲彦(現株式会社ベネッセホールディングス創業者)の「岡山県の教育・文化の進展に役立ちたい」との願いから財団法人福武教育振興財団を設立

1996年 既成の文化の枠にとらわれない文化の創造を目指す財団法人福武文化振興財団を設立

2007年 教育文化振興の両事業をさらに効率的・一体的にするため、2財団を統合し財団法人福武教育文化振興財団としてスタート

2012年 公益財団法人に移行

### 概要

行政庁 岡山県知事

役員・評議員 (2025年6月現在)

代表理事 理事長 松浦俊明 株式会社南方ホールディングス代表取締役

代表理事 副理事長 片山浩子 学校法人アジアの風理事長

業務執行理事 常任理事 小川隆正 元株式会社ベネッセホールディングス会長室室長

理事 谷一尚 一般財団法人林原美術館館長

福武美津子 株式会社イルグラノー代表取締役

森田潔 川崎医科大学特任教授／元岡山大学学長

監事 福原一義 福原一義公認会計士事務所所長

和田朝治 和田・小田法律事務所弁護士

評議員 大原あかね 公益財団法人大原芸術財団代表理事

鍵本芳明 岡山大学 学術研究院教育学域教授／前岡山県教育委員会教育長

越宗孝昌 株式会社山陽新聞社相談役

下妻道郎 株式会社南方ホールディングス取締役

高橋正勝 株式会社ベネッセコーポレーション本社・直島統轄部部長

中島義雄 ナカシマホールディングス株式会社常務取締役

原憲一 RSKホールディングス株式会社相談役

守安収 岡山県立美術館館長

横田有次 岡山県信用保証協会会長／前岡山県副知事

名誉顧問 福武總一郎 株式会社ベネッセホールディングス名誉顧問

公益財団法人 福武教育文化振興財団

〒700-0806

岡山県岡山市北区広瀬町1番5号

(株)ベネッセコーポレーション広瀬町社屋

TEL: 086-221-5254

FAX: 086-232-3190

E-MAIL: [eczaidan@fukutake.or.jp](mailto:eczaidan@fukutake.or.jp)

URL: <https://www.fukutake.or.jp/>



福武教育文化振興財団  
Webサイト

みなさまから送っていただいた「岡山の青空」の写真で財団をイメージする青色を表現しました。

